

大項目	中項目	具体的施策	内容	事業展開	実績（平成28年度以降）	主な実施内容	継続/廃止
基本施策1 多様な参加ができる「する」スポーツの充実	(1) 気軽に楽しめるスポーツの充実	①市民スポーツ大会・イベントの充実	年間を通じて様々なスポーツ大会の後援及び側面支援をするほか、マラソン大会をはじめとしたスポーツイベントの充実を図ります。	市民体育大会の支援	例年実施	・市民大会への共催対応 ・広報かしわや市ホームページでの参加者募集に係る広報の協力	継続
				手賀沼エコマラソン大会の充実	平成29年度に大会方式を変更	・平成28年度及び平成29年度にそれぞれ参加者定員を増員（平成28年度：8,000人⇒9,000人、平成29年度：9,000人⇒10,000人） ・平成29年度より日本陸連公認大会（ハーフマラソン）に変更 ・ゼッケン等の事前発送によって受付時間の削減を実施	継続
				柏市民新春マラソンの充実	平成29年度に参加対象者を拡大	・平成29年度より市外参加者の制限を撤廃し、名称を「柏市民新春マラソン」から「柏市新春マラソン」に変更	継続 ※事業名称修正
		②スポーツ教室等の充実	市民のスポーツへの参加を促進するため、体育協会や指定管理者と連携し、市民ニーズに応じたスポーツ教室等を開催します。	体育協会加盟の競技団体によるスポーツ教室の開催	例年実施	・不定期開催、各競技による（レスリング、弓道等）	継続
				指定管理者の自主事業によるスポーツ教室の開催	例年実施	・スポーツ施設において、定期的に各種教室を開催（テニス教室、ヨガ教室、体操教室等）	継続
				体力年齢診断の定期的な実施	例年実施（令和2年度は中止）	・平成28年度から平成30年度まで中央体育館及び県立柏の葉体育館の2箇所で実施 ・令和元年度には上記2箇所に加え、モラージュ柏、イオンモール柏の2箇所の大型商業施設において簡易的な体験会を開催し、より多くの方に気軽に参加してもらえるよう改善を図っている ・平成30年度より無料化（従前は200円） ・令和2年度より「大人のスポーツテスト」に名称を変更 ・参加者数 平成28年度：86名、平成29年度：85名、平成30年度：114名、令和元年度：401名	継続 ※「体力年齢診断」から「大人のスポーツテスト」に修正
		③ニュースポーツの普及	柏市スポーツ推進委員による学校体育施設を活用したニュースポーツ体験教室等を開催し、誰もが気軽に楽しめるニュースポーツの普及を図ります。	スポーツ推進委員の各支部による定期的なスポーツイベント等の実施	例年実施（令和2年度はスポーツ推進委員の活動を中止し、研修等スキルアップに専念）	・市内5地区に分割した各支部において、市内小学校に定期的に訪問しニュースポーツ体験教室を開催	継続
				P T Aや地域住民組織などから派遣要請されるスポーツ推進委員の派遣活動の推進	例年実施（令和2年度はスポーツ推進委員の活動を中止し、研修等スキルアップに専念）	・P T Aや地域住民組織などから依頼があった際に、随時派遣対応	継続
		④子ども（幼児期）の体力づくりの推進	子どもの体力の向上を図るため、遊びを通じて基本的な運動を取り入れ、子どもが積極的にスポーツに親しむ機会をつくりま	関係機関、関係部署との連携によるスポーツイベントの開催	例年実施（令和2年度は中止）	・平成28年度より千葉県ラグビーフットボール協会や市内公立保育園と連携し、柏の葉公園総合競技場にて開催されるNECグリーンロケッツ公式戦当日のイベントの一つとして、試合前のピッチでラグビーに関連するスポーツアクションを園児に体験してもらおうイベントを開催	継続 ※事業名称について、「イベント開催」から「スポーツに親しむ機会の拡大」に
				柏市スポーツ推進委員によるニュースポーツ体験教室の開催	例年実施（令和2年度はスポーツ推進委員の活動を中止し、研修等スキルアップに専念）	・市内5地区に分割した各支部において、市内小学校に定期的に訪問しニュースポーツ体験教室を開催	継続

大項目	中項目	具体的施策	内容	事業展開	実績（平成28年度以降）	主な実施内容	継続/廃止
基本施策1 多様な参加ができる「する」スポーツの充実	(1) 気軽に楽しめるスポーツの充実	⑤小学校体育活動の支援	小学校と連携して、児童に運動やスポーツの楽しさや喜びを伝え、基礎的な知識と技能を身につけるプログラムを実施します。また、体育指導者を対象にした指導方法の研修を実施します。	小学校の放課後を活用した「運動苦手克服教室」の充実	例年実施	・児童の技能習得と同時に、教師の体育授業におけるスキルアップを目的に、民間スポーツクラブの指導者を派遣する小学校体育サポート教室事業を実施（内容は器械体操（主に跳び箱）） ・令和元年度のスポーツ課の市長部局への移管に伴い、教育委員会指導課に所管替えを行い継続している	継続
				小学校の授業で実施する「運動教室」の充実	例年実施	・学校授業において、ホームタウンチーム所属選手の指導によるスポーツ教室や市内NPO法人と連携したパラスポーツ体験会を実施 ・教育委員会指導課において、令和2年度にダンス授業での外部講師派遣を実施	継続
		⑥親子スポーツの促進	子どもの体力づくりと保護者のスポーツへの参加を促進するため、親子・家族向けのスポーツイベントを開催します。	教育関係機関等と連携したスポーツイベントの開催	例年実施（令和2年度は中止）	・競技や種目にとらわれず、多くの市民がスポーツや運動を始めるきっかけづくりの場としてスポーツドリームかしわを開催。同イベントでは、親子でのイベント参加に主眼を置き、ニュースポーツや障がい者スポーツに関するブース展開のほか、かけっこ教室やウォーキング教室など様々なスポーツ知ってもらい、スポーツをすることにつなげていくことを目的としたイベントとして企画している。	継続 ※事業展開について、具体的事業名として「スポーツドリームかしわ」を明記している。
				柏市スポーツ推進委員によるニュースポーツ体験教室の開催（再掲）	（再掲）	（再掲）	（再掲）
				柏市民新春マラソンのファミリーの部の充実	例年実施（令和2年度は中止）	・平成29年度より市外参加者の制限を撤廃	継続
		⑦成人スポーツの充実	スポーツ実施率が低い若年層（20・30代）に対しては、スポーツを普段の生活に取り入れてもらうためのきっかけづくりや、継続を促す取り組みを実施します。	身近な場所で手軽に実施できるウォーキング等の軽運動の普及	例年実施	・スポーツドリームかしわの企画として、ウォーキング教室を開催（令和元年度） ・自身の基礎体力を手軽に知ってもらう手法として、大型商業施設での体力年齢診断を開催（令和元年度）	継続 ※事業名称について、大型商業施設等での体験イベントの開催に変更
		⑧高齢者のスポーツ促進	高齢者がスポーツに参加できる取り組みを推進します。また、高齢者の生きがいづくりや介護予防事業などとの連携を視野に入れて取り組みます。	柏市スポーツ推進委員によるニュースポーツ体験教室の開催（再掲）	（再掲）	（再掲）	（再掲）
				スポーツ、レクリエーション交流会の開催	例年実施	・市民体育大会やスポーツ推進委員が開催するスポーツイベントにおいて、高齢者でも参加できるスポーツの機会を確保 ・高齢者支援課発行の「シニアはつらつガイドブック」にゲートボールやテニスができる場所として、運動場や体育館の情報を掲載	継続
		⑨障がい者のスポーツ促進	障がい者スポーツの普及・発展のため、関係機関や団体との連携をとり、障がいのある方がスポーツ活動に参加できる環境を充実していきます。	スポーツ交流会やスポーツ教室の開催	例年実施	・令和元年度に障がいの有無に関わらずスポーツを楽しめる場の提供と、障がい者スポーツの体験を目的として、「スポレクタイム」を我孫子市と共催 ・スポーツドリームかしわの企画として、パラスポーツ体験やスポーツ車いす体験を実施 ・NPO法人スマイルクラブと連携し、市内小学校を対象にパラバドミントン教室を開催	継続 ※具体的施策の内容について、「障がいのある方が参加できる」から「障がいの有無に関わらず参加できる」に変更
				障がい者スポーツの情報発信	例年実施	・市のホームページやスポーツ課公式twitterなどで随時掲載 ・平成30年度に柏市障がい者スポーツ推進連絡会を設置し、関係機関や障がい者支援団体と連携した障がい者スポーツの普及や情報交換を図っている。	継続

大項目	中項目	具体的施策	内容	事業展開	実績（平成28年度以降）	主な実施内容	継続/廃止
基本施策 1 多様な参加ができる「する」スポーツの充実	(2) 競技力向上の促進	①競技大会への参加支援	競技スポーツの普及、強化を図るため、各大会に出場する選手、団体に対し、奨励金等を交付します。	県民大会の派遣費補助	例年実施	・県民体育大会に出場するスポーツ協会所属選手の出場経費に対する補助金として支出	継続
				競技力向上奨励金制度の充実	例年実施	・平成28年度から東京オリンピックパラリンピック開催年度までの時限事業として実施 ・県民体育大会に出場するスポーツ協会所属団体に奨励金として支出	廃止 ※オリンピックパラリンピックの閉会により事業終了となるため
		②トップアスリートとの交流・連携の促進	2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催の波及効果が市内のスポーツ推進につながるよう、トップアスリートやホームタウンチームによる講演会や実技指導を行います。	トップアスリートによる講演会及び、スポーツ教室の開催	例年実施（令和2年度は中止）	・平成28年度から東京オリンピックパラリンピック開催年度までの時限事業として実施 ・毎年競技を変えながら、トップアスリートを講師として招致し講演会を開催 平成28年度：佐古賢一氏（バスケットボール） 平成29年度：増田明美氏（マラソン） 平成30年度：小宮山悟氏（野球） 令和元年度：北嶋秀朗氏（サッカー） ・講演会のほかホームタウンチーム等の協力を得て、その年度のテーマとなっている競技の体験教室を併せて開催	廃止 ※オリンピックパラリンピックの閉会により事業終了となるため
				ホームタウンチームと交流会の開催	例年実施	・様々な世代を対象として、ホームタウンチームと連携したスポーツ教室を開催 柏レイソル：レイソルしま専科（小学生） ENEOSサンフラワーズ：バスケットボール教室（中学生） 千葉ロッテマリーンズ：野球教室（小学生） 積水化学陸上競技部：ランニングクリニック（全世代） YBC柏：ティーボール教室（小学生） J R東日本野球部：野球教室（中学生）	継続
		③スポーツ教室の開催	体育協会の加盟団体等による競技者を対象とした各種目のスポーツ教室を開催し、競技者の技術向上を図ります。	体育協会加盟の競技団体によるスポーツ教室の開催（再掲）	（再掲）	（再掲）	（再掲）
		(3) 総合型地域スポーツクラブの支援	①活動の支援及び、活動拠点の提供	活動拠点として学校体育施設や公共スポーツ施設を提供します。	総合型地域スポーツクラブに関するフォーラムの実施	未実施	
	市内総合型地域スポーツクラブ「高田倶楽部」の1日体験クラブの実施				平成30年度まで実施	・平成30年度まで卓球教室やラグビー教室を開催	継続 ※「高田倶楽部」限定から他の団体も対象に加える
	②広報活動等の支援		総合型スポーツクラブの認知度を高めるための広報活動を継続して行います。	総合型地域スポーツクラブの会員増加及び、イベントの情報発信	例年実施	・市のホームページやスポーツ課公式twitterなどで随時掲載	継続

大項目	中項目	具体的施策	内容	事業展開	実績（平成28年度以降）	主な実施内容	継続/廃止		
基本施策2 魅力ある「みる」 スポーツの充実	(1) 観戦スポーツ の推進	①スポーツ観戦情報 の提供	大規模イベントやトップアスリートが参加 する大会だけでなく、市内で開催されるス ポーツ大会や市内のチーム・選手などが出 場する大会の情報提供を行います。	市のホームページやSNSによるタイムリー な情報提供	例年実施	・市のホームページやスポーツ課公式twitterなどで随時掲載	継続		
				柏レイソルなどのトップチームの活躍を市の ホームページやSNS等で情報発信	例年実施	・市のホームページやスポーツ課公式twitterなどで随時掲載	継続		
		②ホームタウンチー ム等との協働	プロや実業団チームの試合を間近に観戦 し、スポーツ観戦の興奮や感動を与える機 会を提供します。	ホームタウンチームの競技観戦の機会の提供	例年実施	・スポーツ少年団の柏レイソルホームゲームへの招待 等	継続		
				プロチームの試合観戦の機会の提供	例年実施	・千葉ロッテマリーンズ公式戦のうち、「ALL for CHIBA」開催日での柏市民 の招待	廃止 ※上記項目と同内容のため 統合		
	(2) 魅せるスポー ツの推進	①メディアの活用	スポーツの魅力を引き出すためには、メ ディアによる盛り上げは欠かせません。 地域のメディアとの連携を図り、ケーブル テレビ、新聞、地域誌、市ホームページな ど多様な媒体を通じたPRを検討します。	地域のメディアと連携した多様なスポーツの 情報提供の検討	随時実施	・ラグビーワールドカップ2019において柏市がニュージーランド代表のキャンプ 地となったことを契機に、地域で配布しているフリーペーパーと連携し、キャ ンプに関連したイベント情報などの掲載を実施	継続		
				市ホームページにて、アマチュアの市民アス リートの活躍を紹介	例年実施	・輝くアスリート「柏の一番星」（柏市ホームページにて掲載） ・アッキーのカシスポ応援したいっ！！（柏市ホームページにて掲載） ・フルエール（広報かしわにて月1回掲載）	継続		
		②みるイベントの開 催	市民のスポーツへの関心を高めるため、多 くの市民が関心を持つ大会などの観戦イベ ントを行います。	パブリック・ビューイング等の開催		令和元年度実施	・ラグビーワールドカップ2019においてニュージーランド代表の試合のパブリッ クビューイングをららぼーと柏の葉にて開催	継続	
									③2020東京オリ ンピック・パラリン ピックの観戦
		基本施策3 感動を分かち合う 「ささえる」ス ポーツの充実	(1) スポーツボラ ンティア活動の推 進	①活動の場の創出	手賀沼エコマラソンなどのスポーツイベ ントに参加できる機会の拡大に努めます。ま た、気軽に参加できる活動であることをP Rするため、広報宣伝活動を推進します。	手賀沼エコマラソンなど、ボランティアとし て参加する機会の創出	例年実施（令和2年度は中止）	・手賀沼エコマラソン ・スポーツドリーム（平成30年度まで） ・オールブラックス事前キャンプ関連 等 イベント開催時に運営ボランティアの募集を実施	継続
						スポーツボランティアの意義や価値をPRす る広報活動の推進	例年実施（令和2年度は中止）	・広報かしわにてボランティア参加者を募集	継続
(1) スポーツボラ ンティア活動の推 進	②柏市スポーツ推進 委員の活動の充実		柏市スポーツ推進委員が、市民のニーズに 応じた活動の場が広がるよう、研修会や他 団体との指導交流などによるスキルアップ を図ります。	柏市スポーツ推進委員のスキルアップ研修会 等の開催	例年実施	・毎年1回柏市スポーツ推進委員独自研修会を実施 ・令和元年度に茨城県那珂市との合同研修会を実施	継続		
								③大学への施策展開	地域のスポーツボランティアの充実に向け て、学生がスポーツボランティアに組み こむ仕組みを検討し、スポーツを通じた大学 の地域貢献活動を促進します。

大項目	中項目	具体的施策	内容	事業展開	実績（平成28年度以降）	主な実施内容	継続/廃止	
基本施策3 感動を分かち合う 「ささえる」ス ポーツの充実		④スポーツボラン ティアの育成	地域スポーツを支えているボランティアを 育成するために、研修機会の充実やスポー ツボランティア登録制度の創設を検討しま す。	スポーツボランティアの各種講習会の開催	令和元年度実施	・ラグビーワールドカップ2019において柏市がニュージーランド代表のキャンプ 地となったことを契機に、関連イベント等の運営ボランティアを募集し講習会 を実施	廃止 ※スポーツボランティアに ついては、左記の試験導入 の結果として、各イベントご とに求められる役割や年代 に違いがあり、イベント毎 に役割等を明確にして募集 した方が効率的な運営に資 するとの結論に至っている。 このため、今後はボラン ティア機会の創出に重点 を置き、「④活動の場の創 出」に統合して取り組みを 継続させていくこととした い。	
				スポーツボランティア登録制度の検討	令和元年度実施	・上記の運営ボランティア募集にあたって、柏市ラグビー協会と連携し、登録 制度を試験的に導入		
	(2) 奨励制度等の 充実	①奨励制度等の充実	上位大会にて優秀な成績を収めた選手、団 体に対する顕彰を行います。また、スポー ツ活動をする団体の活動に対する補助制度 の充実を図ります。	スポーツ顕彰制度	例年実施	・平成28年度より障がい者スポーツの大会も交付対象に加える	継続	
				国際大会・全国大会出場団体等への奨励制度 の充実	例年実施	・例年実施しており交付件数増加傾向 ・平成28年度より障がい者スポーツの大会も交付対象に加える ・平成30年度に国際大会出場時の奨励金交付単価を25,000円から50,000円に増 額。さらに、申請可能期間を大会後2ヶ月以内から1年以内に変更した。	継続	
	(3) スポーツ指導 者の育成	①技術力向上の支援	競技スポーツや地域のスポーツ活動を支える 指導者の育成を図るため、専門的知識・ 技能のレベルアップに向けた研修等を実施 します。	指導者スキルアップ講習会の開催	令和元年度実施	・ラグビーワールドカップ2019においてニュージーランド代表の事前キャンプ が柏市で行われることに併せた地域交流の一環として、ニュージーランドラグ ビー協会に所属するコーチ3名による「オールブラックスコーチングクリニック in KASHIWA」を開催。その中の企画の一つとして、柏ラグビースクール所属 コーチに対する指導者講習を実施。	継続	
				②スポーツ医・科学 講習会等の実施	スポーツ団体や実技指導にあたるスポーツ 指導者を対象にして、スポーツによって生 じる事故、外傷、障害等に関わるスポーツ 医・科学的な知見を学習するための研修を 実施します。	スポーツ医・科学講習会の開催	未実施	継続 「①技術力向上の支援」に 統合し、個別の事業として ではなく、指導者スキル アップの一環として総合的に 実施していく
				③救急救命講習会の 実施	スポーツを行う際には、生死にかかわる急 な心肺停止等についても十分対処できるよ うに、スポーツ団体等にAED操作方法の 講習会を実施します。また、スポーツ団体 等が主催する大会等におけるAED設置や 携行を奨励します。	救急救命講習会の開催	例年実施	・手賀沼エコマラソンの運営ボランティアを対象に救急救命講習を実施。大会 当日においても、一定間隔でのAED及び救急救命士の配置を実施している。

大項目	中項目	具体的施策	内容	事業展開	実績（平成28年度以降）	主な実施内容	継続/廃止	
基本施策4 気軽に利用できる 「場所」の充実	(1) 公共スポーツ施設の有効活用	①定期的に利用する団体の活動拠点の提供共スポーツ施設の有効活用	公共スポーツ施設の有効活用と地域スポーツ団体の育成を図るため、登録制による定期的な団体利用を推進します。	「定期利用サークル」の活動拠点の優先的な提供	例年実施	・例年、130団体程度のスポーツ団体がスポーツ施設を定期的に利用し、スポーツ活動に取り組んでいる。	継続	
		②公共スポーツ施設の充実	市全体の施設管理計画を踏まえ、既存施設の計画的な改修を進めます。また、施設利用者の利便性を考慮した環境整備を図ります。	柏市公共施設等総合管理計画に基づく計画的な施設改修	例年実施	・平成28年以降に作成された柏市公共施設等総合管理計画に基づき管理施設の改修を行っている。 ・令和2年度には中央体育館の大規模改修を行い老朽化した施設の改修及び空調設備の新設、更新等を行っている。	継続	
				指定管理事業者と協働による施設の利便性の向上	例年実施	・指定管理事業者と協議し、適宜整備を行っている。 ・令和2年度には船戸市民プールの強制シャワーについて、センサー式にする等、改修を行っている。	継続	
	(2) 学校体育施設の活用の促進	①学校体育施設開放事業の充実	地域住民の身近なスポーツ活動の場として利用できるよう、学校の実態に応じた開放を推進します。	小・中・高等学校の体育施設を地域のスポーツ団体へ開放	例年実施	・例年、延べ430団体程度が学校体育施設を利用し、スポーツ活動に取り組んでいる	継続	
		②総合型地域スポーツクラブの支援（再掲）	身近な生活圏で気軽にスポーツに親しめる環境をつくるため、クラブが活動する拠点の提供や活動を継続的に進めるための支援を行います。	総合型地域スポーツクラブの会員増加及び、イベントの情報発信（再掲）	（再掲）	（再掲）	（再掲）	
		③学校プールの有効活用	夏季の学校休業期間中、小学校のプールを開放し、地域の児童の運動の場を提供します。	小学校プール開放事業の充実	例年実施（令和2年度は中止）	・令和元年度までは、前期6校・後期6校の延べ12校で実施 ・令和2年度からは大津ヶ丘市民プール休止の代替措置も含め、前期7校、後期7校の延べ14校での実施を予定していた ・利用者数（※平成28年度は天候不良のため、利用者数が例年よりも減少） 平成28年度：4,727人、平成29年度：8,178人 平成30年度：7,180人、令和元年度：7,247人	継続	
	(3) 企業・民間スポーツクラブとの連携	①企業・民間スポーツクラブとの連携	企業・民間スポーツクラブと相互に連携を図りながら市民のスポーツ活動を活性化させるため、民間施設の利用提携などを進めていきます。	民間スポーツクラブの温水プールの利用機会の提供	例年実施	・令和2年度現在、市内民間スポーツクラブ2社と協定を結び、柏市スポーツ施設利用者登録をすることで、温水プールが利用可能となっている。	継続	
				企業・民間スポーツクラブとの協働事業の実施	平成28年度より実施	・平成28年度に柏フィットネス振興会と連携協定を締結し、体力年齢診断事業をはじめとした市民の運動やスポーツ活動に関する様々な取り組みにおいて相互に協力し、スポーツを通じた地域活性化を進めている。	継続 ※事業展開名称に連携協定を結んでいる柏フィットネス振興会を記載	
			①効率的なスポーツ情報の発信	市民のニーズに即した幅広いスポーツに関する情報提供の体制整備を進めます。	市のホームページの充実及び、スポーツ関連情報の提供の一元化を検討	令和元年度より実施	・令和元年度より市ホームページにおいてホームタウンチーム関連の情報を掲載していた「スポーツのまち柏」に、アマチュアスポーツの情報も集約し、スポーツ関連情報を一括して提供できるよう運用を変更	継続 ※「一元化の検討」から「掲載情報の充実」に修正
					公共機関や店舗、医療機関などへの情報掲載の依頼	随時実施	・イベント開催告知ポスターやチラシの掲載依頼を随時実施	継続

大項目	中項目	具体的施策	内容	事業展開	実績（平成28年度以降）	主な実施内容	継続/廃止
基本施策5 スポーツを楽しむ きっかけとなる 「情報」の充実	(1) スポーツ情報の発信			スポーツ情報メール配信サービスの検討	令和2年度実施	・令和3年度よりLINEによる情報配信の運用開始予定	継続 ※「検討」から「運用」に修正
		②スポーツ観戦情報の提供（再掲）	大規模イベントやトップアスリートが参加する大会だけでなく、市内で開催されるスポーツ大会や市内のチーム・選手などが出場する大会の情報提供を行います。	市のホームページやSNSによるタイムリーな情報提供	（再掲）	（再掲）	（再掲）
				柏レイソルなどのトップチームの活躍を市のホームページやSNS等で情報発信	（再掲）	（再掲）	（再掲）
	(2) 市民による情報提供の仕組みづくり	①市民スポーツレポーター制度の検討	地域や学校におけるスポーツの取り組みを取材し、その情報を市民に広く提供していくため、「仮称：スポーツレポーター制度」を検討し、更に充実した情報発信に努めます。	スポーツレポーター制度の検討	随時実施	・アッキーのカシスポ応援したいっ！！（柏市ホームページにて掲載）にてプロアマ問わず柏市のスポーツに取り組む人や団体の紹介を実施	廃止 ※基本施策5(1)①「効率的なスポーツ情報の発信」にて対応
(3) 公共スポーツ施設予約システムの充実	①スポーツ総合情報システムの構築の検討	スポーツへの関心や参加意欲を促進するため、現在、稼働している公共施設予約システムの改良を図り、スポーツに関する様々な情報を総合的に提供できるシステムの構築を検討します。	スポーツ総合情報システムの構築の検討	令和元年度検討	・検討の結果、公共施設予約システムがスポーツ施設だけでなく、文化施設も複合したシステムとして運用しているため、多様なスポーツ情報の提供には不向きであるとの結論に至った ・スポーツ情報の提供については、市ホームページに作成している「スポーツのまち柏」や令和3年度より導入予定のLINEにより運用をしていく予定	廃止 ※基本施策5(1)①「効率的なスポーツ情報の発信」にて対応	